

Challenge 2004



随時開催されるセミナー。最近では主婦や若い女性も多い。

国泰キャピタル

外国為替証拠金取引と中国不動産の二事業を確立 日本・中国間の「経済」「人」の掛け橋を築く

ここにかけて景気回復の兆しが見えはじめたとはいえ、身をもってそれを実感できるのはまだまだこれから。超低金利に加え、解消されない年金不安……。明るい未来の創造に予断は許されない。

そこで話題となっているのが「外国為替証拠金取引」。平成十年の外為法改正によって新たに誕生した資産運用法の一つだ。

外国為替市場は世界最大の金融市場でもあり、一日の平均出来高は一・五兆ドルを超える。国内株式市場などとは異なり、市場は二十四時間。シドニー、東京、ロンドン、ニューヨークと取引市場は世界を駆け抜け、金融のダイナミズムがあふれている。外国為替証拠金取引は、この市場で、低コストで金利の高い効率的な資産運用を実現していく。小額の証拠金（保証金）を担保に額面の大きな外国貨幣を動かすことで運用益を生み

出す、いわばテコの原理のような運用方法だ。

概略では単純に見える取引かもしれないが、資産運用につなげるには相応の知識と理解が必要不可欠。知識不足ではヤケドしかねない。そんな不安を解消してくれるのが株式会社国泰キャピタル（資本金三千万円、潘福平社長）の存在だ。

「魅力的な投資方法であるには間違いない。だが、十分にこの商品性について説明がなされていない。リスクに対する投資家との相互理解が非常に大切だ」。潘社長が危惧するのは投資家への説明がうやむやになっている点にある。「透明性の高い投資環境をつくらなければならぬ」（潘社長）。同社では投資家視点の運用を最重視。ITを活用したデモ取引や、二十四時間の相談受付、逐次開催するセミナーを通じて投資家の疑問や質問に真摯に答えている。

また、社員の給与は歩合制が多い業界で珍しい固定給制を採用。それが営業マンのモラル向上に寄与。責任ある提案を可能にし、投資家の信頼を勝ち得ている。一方で、中国の不動産業務も行

う。潘社長の出身国での生身の経験が凝縮された部門だ。

異なる文化や歴史の理解 誠実な業務推進で躍進

潘社長は中国の大学を卒業後、日本の大学院に留学。国際金融を専攻し、中国では大学で教鞭をとった経歴もある。その過程で考えていたのが「学問を生かし、日本と中国の掛け橋になりたい」ということ。その実現のためまず始めたのが、人的ネットワークを生かした不動産のコンサルティングや仲介業務。日本と中国の文化、歴史の違いを肌で知る潘社長に日本人、中国人問わず、相談が寄せられたのは言うまでも無い。それを通じて国際感覚も磨かれた。

「人と人とのコミュニケーションを尊ぶのが中国。それは日本でも同じこと。どのような局面でも誠意ある応対を心掛けたい」

現在は、中国進出の外国企業、中国駐在の外国人や在日中国人など向けに、中国の工場、店舗、オフィス、住宅の賃貸、販売の仲介などを展開している。中国が世界の工場と呼ばれる昨今、同社への

依頼は拡大中。今年二月には上海事務所を開設するなど、飛躍はとどまるところを知らない。

この不動産事業の確立を踏まえ、念願の金融分野に乗り出したのが平成十三年。「まだ完全に開かれていないとはいえない中国市場に金融と不動産で風穴を開けていきたい。業務を通じて日中友好につながれば」。その誠実な思いが同社の取り組みには息づく。

二十一世紀、世界の目は中国に注がれている。経済、産業、人、様々なキーワードがそこにはある。日中間でグローバルな活動を続ける同社の「掛け橋」としての存在に期待は高まるばかりだ。（兼）



洗練された同社エントランス



潘福平社長

株式会社国泰キャピタル
住所/東京都千代田区内神田
二一-十二 添川ビル三階
☎03-5207-6688
URL
金融部門
<http://www.fx-kyc.com>
中国不動産部門
<http://www.chinese-house.net>